

MUGEN POWER Cup CIVIC One Make Race 競技規則

*文中_____ (アンダーライン)は「Honda Exciting Cup One Make Race 2011～CIVIC Series～車両規則」からの変更を示す。

第1条 大会

MUGEN POWER Cup CIVIC One Make Race (以下 MPC)は、国際自動車連盟 (FIA)のモータースポーツ競技規則、および JAF 国内競技規則、本競技規則、および各大会特別規則に従って開催される。

すべての参加者は、これらの諸規則に精通しており、これらを遵守するとともに各主催者、および競技役員の指示に従う義務を負うものとする。

第2条 組織

本レースは、MUGEN POWER Cup 事務局(以下 MPCO)統括のもと、各大会主催者が社団法人日本自動車連盟 (JAF) 公認による「MUGEN POWER Cup CIVIC One Make Race」の名を付したレースとしてそれぞれ組織、開催する。各大会の大会組織委員会、大会審査委員会、および競技長、その他競技役員は、各大会の競技会特別規則にて公示される。

第3条 大会スケジュール、レース距離および決勝出場台数

①大会スケジュール

	開催日程	開催大会	開催地	周回数 (距離)
第1戦	3月31日(土)～4月1日(日)	SUPER GT 第1戦	岡山国際サーキット	3.7km × 15周 (55.5km)
第2戦	5月12日(土)～13日(日)	フォーミュラ ニッポン 第2戦	ツインリンクもてぎ	4.8km × 12周 (57.6km)
第3戦	6月9日(土)～10日(日)	ザ・ワンメイクレース祭 2012	富士スピードウェイ	4.5km × 13周 (58.5km)
第4戦	9月22日(土)～23日(日)	フォーミュラ ニッポン 第6戦	スポーツランド SUGO	3.7km × 15周 (55.5km)
第5戦	11月3日(土)～4日(日)	フォーミュラ ニッポン 第7戦	鈴鹿サーキット	5.8km × 10周 (58.0km)

②決勝出場台数は大会特別規則に委ねられる。

第4条 参加資格

ドライバーは、有効な 2012 年 JAF 競技運転者許可証 Aクラス以上の所有者とする。

第5条 参加車両、および競技番号(ゼッケン)

①参加車両は、別掲の車両規則に合致したホンダシビックTYPE R(形式:ABA-FD2)でなければならない。

②レース大会時の参加車両名は、各大会特別規則にしたがって登録されなければならない。

③競技番号は、MPCOにより決定され、ドライバーに対し年間を通じ同じ番号を使用する。

表示する場所は、フード上面、左右前方ドア部分、ルーフ、およびリアの 5 箇所とする。但し、左右前方ドア部分はベースシート付きで、その他はナンバーのみ指定品が配布される。(MPCO無償配布 1set) なお、2012 年度の競技番号「1」は欠番とする。

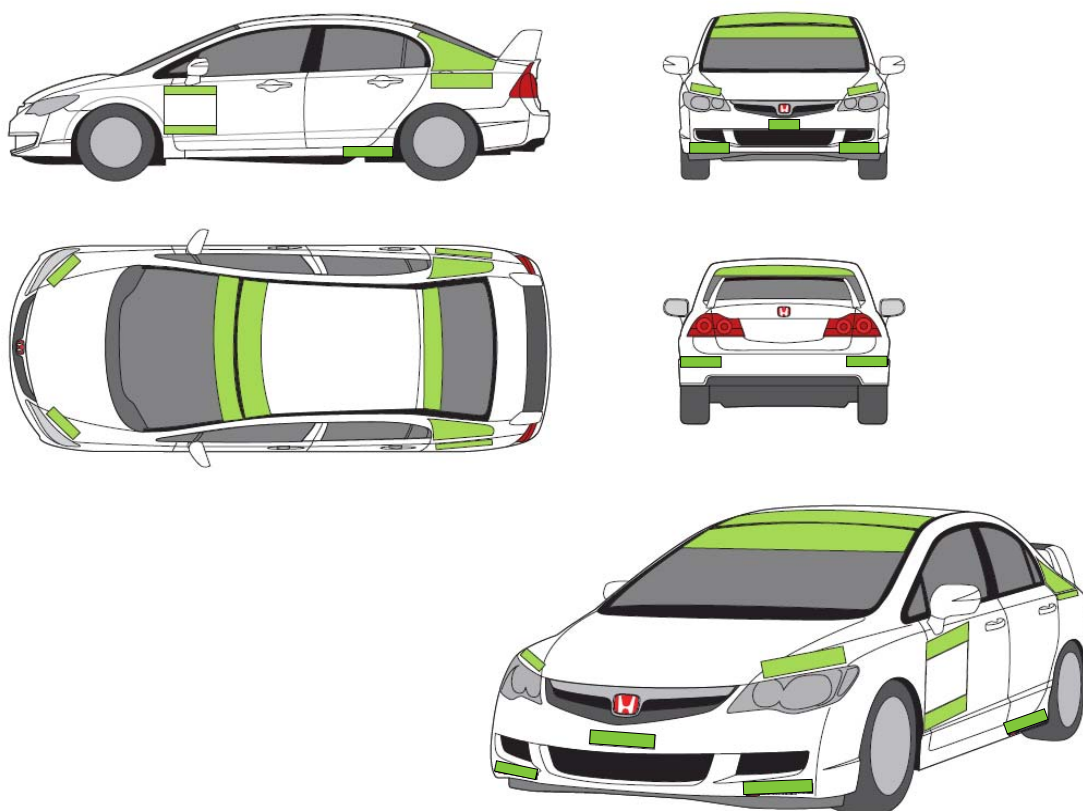
- ④車両の前後に添付されているホンダ、及びシビックTYPE R を表現するエンブレム(Hマーク、及びネーミングプレート)は、当初のままに保持されていなければならない。

MPCO から配布される指定のナンバー及びベースシート、指定のステッカーは、MPC 参加車両以外に添付することが嚴重に禁止される。

第6条 MPC 指定物表示スペース

参加者は、MPCおよび協賛各社の為に指定表示物スペースを提供しなければならない。その範囲は下図の通りとし、各添付物は指定された位置に貼付が義務付けられる。

参加者は、参加者自身による特定の広告が拒否される場合があることを、あらかじめ承諾していなければならない。



第7条 参加申込み

- ①各主催者の指定する参加申込み期間に、所定の手続きに従って参加申込みを行わなければならない。

- ②参加申込み先

第1戦

岡山国際サーキット レース事務局

〒701-2612 岡山県美作市滝宮 1210

TEL. 0868-74-3311 FAX. 0868-74-2600

第2戦

ツインリンクもてぎ レース事務局

〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町大字楡山 120-1

TEL. 0285-64-0200 FAX. 0285-64-0209

第3戦

富士スピードウェイ レース事務局

〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向 694

TEL. 0550-78-2613 FAX. 0550-78-1901

第4戦

スポーツランド SUGO レース事務局

〒989-1394 宮城県柴田郡村田町菅生 6-1

TEL. 0224-83-3111 FAX. 0224-83-3129

第5戦

鈴鹿サーキット レース事務局

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町 7992

TEL. 059-378-3405 FAX. 059-378-3625

第8条 参加料、および保険

①参加料

1台につき¥52,500(税込み)

②保険

ドライバーは900万円以上、ピットクルーは400万円以上の当該レースに有効な保険に加入していなければならない。既に加入済みの場合は、その旨大会主催者に申告するものとする。上記金額に満たない場合はその不足分について、各主催者の指定する保険に必ず加入しなければならない。

第9条 レース

- ①レースは定位置からのグリッドスタートとする。スタートの方法、手順は各大会特別規則による。
- ②完走周回数は優勝者の周回数の70%以上とし、少数点以下は切り捨てられる。
- ③公式予選基準タイムは、当該レース公式予選上位3台のベストタイムの平均値に130%を乗じたものとする。
- ④レース成立周回数は、当初のレース周回数の60%以上とする。また、30%未満の場合は不成立とし30%～60%未満の場合は成立するが、シリーズポイントは50%に制限される。但し、各大会賞金は30%以上であれば全額支払われる。
- ⑤公式予選不通過者の決勝レース出場に対する最終判断は、当該大会審査委員会に委ねられる。

第10条 タイヤ(スリックタイヤ規定)

- ①公式予選に使用できるスリックタイヤは4本までとする。また、決勝レーススタート時にスリックタイヤを使用する場合、これら4本を使用しなければならず、いずれの場合も4本が同時に装着されていなければならない。
- ①-1 4本のスリックタイヤはコンプライトホイール状態にて、大会技術委員によって指定のマーキングが実施される。
このマーキングは、大会スケジュールに発表された公式予選前の公式車両検査時間内に行われる。
- ①-2 タイヤマーキングは、以下②の場合を除き前項時間以外には行われない。
- ②公式予選時および予選終了後等において、マーキングタイヤ一本または複数に、何らかの事由による交換が必要となった場合、当該エントラントの申請により大会技術委員長承認のもと交換が認められる。但し、公式予選で達成された当該エントラントのスターティンググリッドが失われることを条件とする。また、この場合のタイヤ交換申請に対する時間的制限は、公式予選終了後30分以内とする。

- ③マーキングタイヤの交換におけるスターティンググリッド失効は以下の通りとする。
- ③-1 公式予選出場台数が公式予選通過台数と同数、またはそれ以下の場合、予選で獲得した自己のグリッドを失い、最後尾グリッドからのスタートが理由の如何を問わず条件とされる。ただし、当初の獲得グリッドより 5 グリッド以内に最後尾グリッドがある場合はピットスタートとする。
- ③-2 公式予選出場台数が公式予選通過台数を上回っている場合、③-1と同様とするが、この場合のタイヤ交換を行ったチームの処遇は公式予選タイム抹消ではなく、決勝レースグリッド位置のみが失われ最後尾グリッドとされるものである。よって、決勝レース出場は確保される。
- ③-3 グリッド失効による空グリッドについては保持され、後続グリッドの繰り上げは行われない。
- ④マーキングタイヤの組み換え作業は禁止される、ただしホイール等に起因するやむを得ない不具合に限り大会技術委員長承認のもと作業が許可される。なおタイヤの裏組(左右を逆に組み直す)は認められない。
- ⑤公式予選終了後、使用スリックタイヤに異常が認められ、かつその異常が指定タイヤメーカー タイヤサービスによって「製造過程での不具合に起因した可能性が高い」と判断された場合、特例としてそのタイヤを新品タイヤに交換することが認められる。
- ⑤-1 この場合処置は、当該タイヤを交換するのみで、当該予選結果は当初の結果が保持される。新品タイヤへの交換は、無償にて行われる。
- ⑤-2 前記のような状況が決勝レース中に生じた場合は、当該タイヤを無償にて新品に交換するのみとし、決勝レース結果には影響を及ぼさないものとする。

第 11 条 車両交換の禁止

公式車両検査に合格した車両は、車両の交換、またはエンジンおよびトランスミッションのアッセンブリー交換が禁止される(各部品アッセンブリーの定義は MPCO が定める)。

やむを得ない事由で交換(車両以外 エンジン、ミッションに限る)、しなければならない場合、当該エントラントの申請による大会技術委員長、大会競技長 承認のもと、大会審査委員会が許可したものに限り認められる。ただし、公式予選で達成された当該エントラントのスターティンググリッドが失われる事を条件とし、最後尾グリッドからのスタートが理由の如何を問わず条件とされる。なお、当初の獲得グリッドより 5 グリッド以内に最後尾グリッドがある場合はピットスタートとする。その際グリッド失効による空グリッドは保持され、後続グリッドの繰り上げは行われない。

またこの場合のエンジン、およびトランスミッション交換の申請に対する時間的制限は、公式予選終了後 30 分以内とする。

第 12 条 罰則

- ①本規則、各大会特別規則および公式通知で定められた規則に対する違反の罰則は、大会審査委員会が決定し、違反者に通告される。
- ②決勝レース中に課す罰則は、次の2つのタイムペナルティーとする。ただし、当該表示後 3 周回をもってしてもタイムペナルティーを規定通り実行できない場合、当該違反者は失格とし、そのレースから除外される。なお、タイムペナルティー表示後、3 周回を過ぎる前にレースが終了された場合、当該違反者は競技結果に 1 分が加算されるものとする。
- ②-1 ドライビングスルーペナルティー
- ・コントロールライン付近にて「競技車両番号+D」(Dは黒地に黄文字)ボードが提示される。
 - ・当該競技車両は、3 周回以内にピットインし、自己のピットに停止することなくピット出口からコースに復帰しなければならない。

②-2 ペナルティーストップ

- ・コントロールライン付近にて「競技車両番号+P」ボードが提示される。
- ・当該競技車両は3周回以内にピットインし、ペナルティーストップエリアに少なくともタイムペナルティとして課せられた時間停止した後、ピット出口からコースに復帰しなければならない。自己のピットに停止することは許されない。

第13条 賞典

【現在調整中】

第14条 シリーズポイント

各大会の決勝順位により、シリーズポイントが与えられる。

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	完走者
20	15	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

第15条 シリーズポイントの集計

- ①シリーズポイントの集計は、獲得した全てのポイントを合計するものとする。
- ②同ポイントの場合は、上位入賞回数の多いものを優位とする。さらに同じ場合は、最終戦の成績による。前記においても同じ場合は、シリーズ参加回数の多いものを優位とするが、さらに同じ場合は MPCO がこれを決定する。
ただし、シリーズ中に懲罰を受けたドライバーは、上記に係らず同ポイント中最下位とされる。
- ③当該レースによって失格した場合シリーズポイントは獲得出来ないが、過去に遡ってシリーズポイントが剥奪されることは原則としてない。但し、失格の裁定を為した当該審査委員会の審議結果を考慮して、例外的にそれまでに獲得したシリーズポイント全てを剥奪するまで罰則が遡及される場合もある。

第16条 競技会会場(サーキット)での無線通信

予選、決勝レース時におけるドライバー(競技車両)との無線通信設備(携帯電話、トランシーバー等を含む)の使用は禁止される。その他の使用に際しては、各サーキット一般競技規則に従うものとする。

第17条 本規定に記載されていない事項

本共通規定に記載されていない事項については、MPC ブルテン、各大会の特別規則、および大会公式通知によって示される。